

Catalog of Nishimura Family Documents Held by Tohoku Gakuin University

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2023-03-22 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 永田, 英明 メールアドレス: 所属:
URL	https://tohoku-gakuin.repo.nii.ac.jp/records/25054

東北学院大学博物館所蔵 西村家文書目録

永 田 英 明

1. はじめに

本稿は、2021 年度東北学院大学学内共同研究事業「近代仙台の商家西村家資料の研究」（研究代表者永田英明、共同研究者齋藤善之、七海雅人）の成果報告として公表するものである。

本稿で紹介する「西村家文書」は、仙台市河原町の「西村商店」の経営に関する文書群である。西村商店は特に明治から戦後昭和 30 年代にかけ砂糖・米・たばこ・茶・菓子等を取り扱う商家として繁盛したが、昭和 43 年に閉店し、その店舗は仙南堂薬局に引き継がれ、現在はその建物が平成 16 年 3 月に仙台市の「杜の都景観重要建造物等」に指定されている。

西村商店は、近世仙台城下以来の商家で、平家の落武者と伝えられる坪沼の菅野家に出自を持つという。文政八年（1825）五月二十八日の年紀を持つ秋保大滝不動尊の香炉に、河原町の西村屋仲助の名があるなど有力商家の一つであったが、明治期に本家が絶家となり、別家から入った八代当主金六が西村家を再興。明治後期から大正・昭和にかけて繁盛した。金六は明治末には秋保石材軌道設立の発起人となり、のち専務取締役から 3 代目社長をとつめるなどその経営にも関わっている。

2. 受入の経緯

本文書の受入は、現在のご当主西村容太郎氏から齋藤善之本学経営学部教授（NPO 法人宮城歴史資料保全ネットワーク理事長）への資料保存に関する相談を契機としている。西村氏からの相談は、文書資料に限らず、道具類や衣類などを含むものであったが、このうち文書群については、まずは資料クリーニングの対象として東北大学災害科学国際研究所に搬入され、その後 2020 年 9 月に齋藤教授および歴史学科七海雅人教授（博物館学芸員）および永田（博物館長）の 3 名で西村家を訪問して、文書の受入について協議し、それを受けて、同年 12 月 4 日に同研究所から東北学院大学博物館への移送をおこなった。

なお文書以外の道具類などの「モノ」資料については別途資料選定等をおこなうこととし、2022 年度に文学部政岡伸洋教授（民俗学）の民俗学実習授業の一環として資料の受入・調査が進行している。これについては、本号掲載の「東北学院大学博物館所蔵 西村家生活関連資料中間報告書」を参照されたい。

3. 資料の整理・調査

文書の受入後、齋藤・永田・七海の三名の名前で2021年度の「東北学院大学共同研究助成金」の採択を受け、2021年度に学生アルバイトを雇用して資料整理をおこなうこととなった。2021年6月に受入資料の冷凍殺虫処理を実施したが、その後新型コロナウイルスの感染数が中々低減せず、資料整理自体は2021年10月からの作業となった。その準備として10月21日に作業メンバーの学生8名とともに東北大学災害科学国際研究所を訪問し資料クリーニングの基礎的な方法について研修を受け、11月から2022年1月の授業期間内は、週半日（木曜日午後1～4時）、3～4人程度（主として歴史学科3年生）で、文書のドライクリーニングと中性紙封筒への封入、資料カードの作成（表題・年代など）による基本情報の採録をおこない、2022年2月～3月にかけては、春季休業期間を利用して、歴史学科2年生のアルバイト人数を追加募集し、同様のクリーニング作業と一部の資料の写真撮影を実施した。

クリーニング作業はこの2022年度の作業期間で一応完了し、一応の仮リストをも作成した、その後2023年度には、「東北学院大学史料愛好会」の協力を仰ぎつつ、内容の点検等を実施し、本目録を作成した次第である。

4. 文書群の概要と目録整理の方針

資料の分量は、目録掲載の件数で178件となった。資料群の年代は、最も古い年紀が明治19年、最も新しいものが昭和30年であるが、明治30年代～昭和初期のものが中心である。

これらは、一つには、近代における都市仙台の商家の経営実態を示す資料として、もう一つには近代商家における冠婚葬祭や近隣の相互扶助の様相などの生活文化・風習に関する資料として、価値を持っていると考えられる。前者の具体的な分析はこれからの課題であるが、中心となるのは、「元帳・大帳」「調帳」「仕訳帳」等の表題を持つ会計帳簿であり、ほかに「各国取引店文通」（写真）など日々の取引に関わる日記的な記録、金銭の貸借等に関わる書類等も含まれている。

一方後者については、とくに西村家における婚儀や葬送に関わる儀礼文書が含まれているのが興味深い。これらは仙台市歴史民俗資料館の企画展など、すでに一部で利用されてきた資料でもある。前述した、現在進行中である西村家の物品資料、およびこれとセットで進められている民俗学ゼミによる聞き取り調査とあわせて、近代における都市仙台の商業文化・風習の検討資料として利用されることが期待される。

目録は、以上の資料を大きく「Ⅰ 西村商店経営書類」と「Ⅱ 西村家冠婚葬祭資料」「Ⅲ 書籍・雑誌類」に区分した。内容分析が十分ではなく一部不適切な分類となっている可能性もあるが、今後必要に応じ修正することとしたい。

また本稿で公開する資料目録は、今後の調査分析に備えて、まずは最低限の利用環境を早急に整えることを目的に作成したものであり、個々の資料の記述内容、資料群全体の構

造について本格的な分析は全く行っていない。このため目録記述の内容や目録の編成原理には今後様々な修正が必要となると思われるが、それらについては今後の調査研究を踏まえて再度修正機会を期すこととし、現時点ではとりあえずの情報提供を優先した。この点ご了解いただきたい。なお本資料の利用に際しては、個人情報保護等の観点から、一部の資料の利用を制限することがあることも、あわせてご了解いただきたい。

なお本文書の受入、整理については、旧蔵者の西村容太郎氏をはじめ、東北大学災害科学国際研究所の川内淳史氏・安田容子氏（現安田女子大学）のご協力をいただいたことを申し添えたい。

調査・整理作業参加者（学生・大学院生）

[文学部歴史学科学生]

遠藤直輝、熊澤 舞、鈴木沙良、阿部光瑠、窪田海人、大村咲奈、伊藤 舞、玉手映里佳、津志田大輝、増藤雄大、秋葉貴人、櫻井涼花、石崎茉衣子、高橋寛宇、菊池香那、鈴木希実、菊池寛奈、二階堂ひかり、小野寺詩乃、武藏陽治、千葉宇翔、笹川 栞、高橋 楓、佐々木結衣、阿部稀愛、本吉悠馬、五戸翔天、築田大地、二瓶 尊、三浦真央

[文学研究科アジア文化史専攻学生（大学博物館学芸研究員）]

真柄 侑、横山 舞、福澤光稀、大友健太郎、金澤日本、石倉 蓮、佐竹由宇、楊雪雁



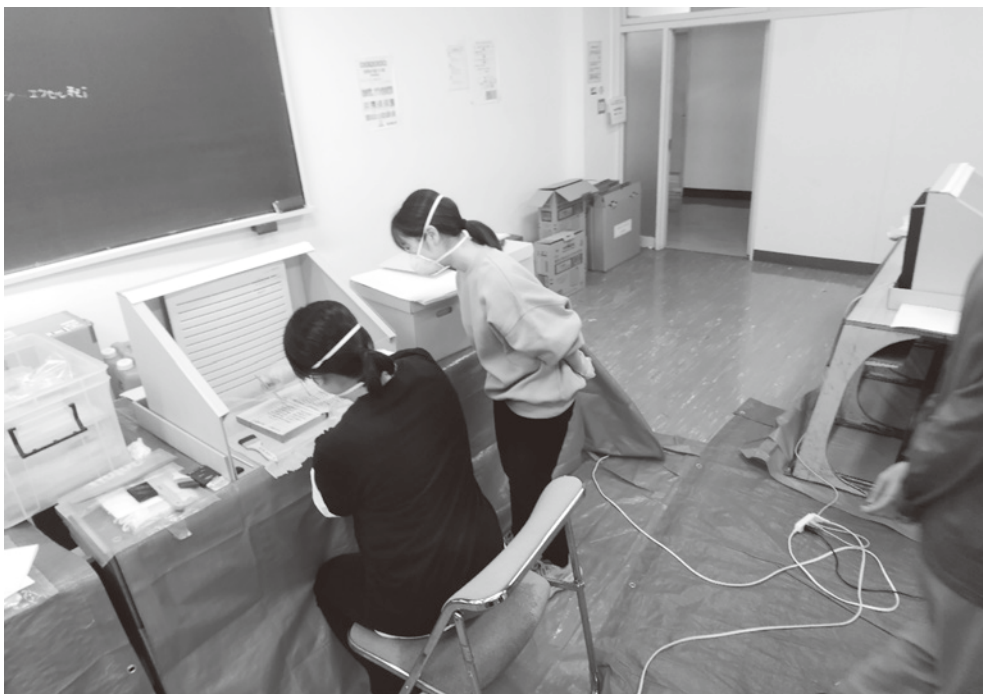
受入時の状況



仮番号付けと冷凍殺虫の準備（2021年6月）



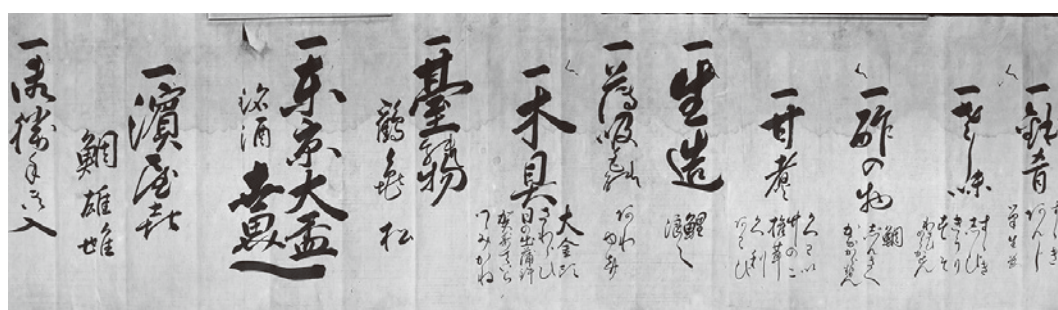
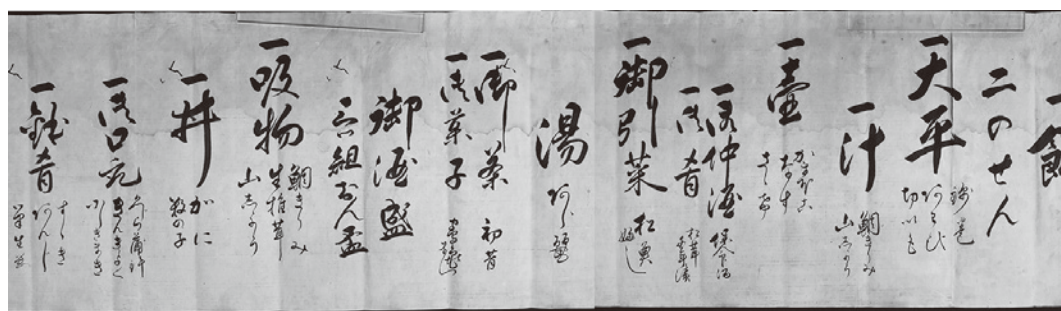
東北大学災害科学国際研究所での研修（2021年10月）



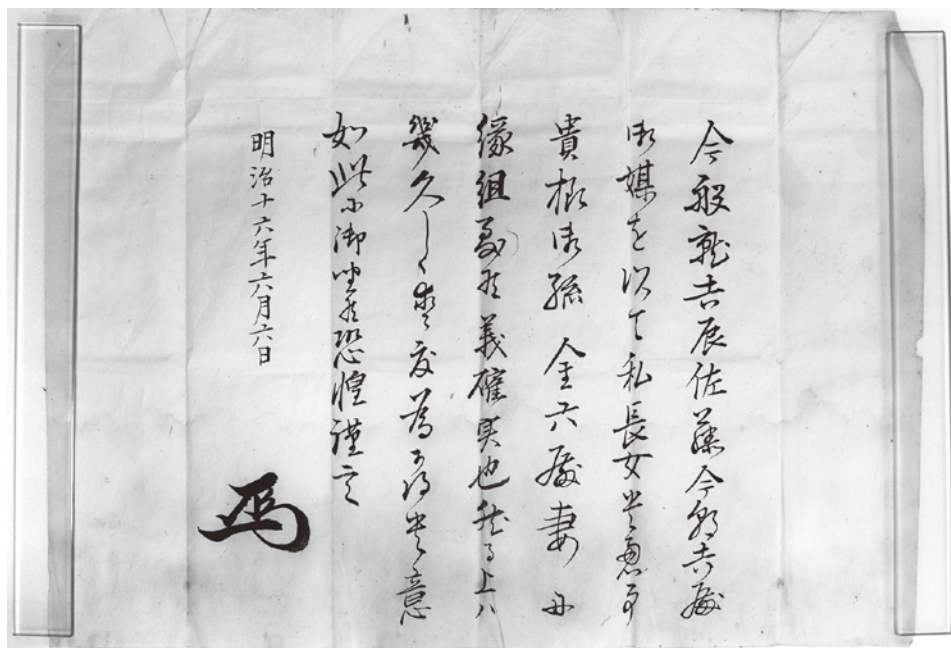
ドライクリーニング・ボックスを使ったクリーニング作業（2021年11月）



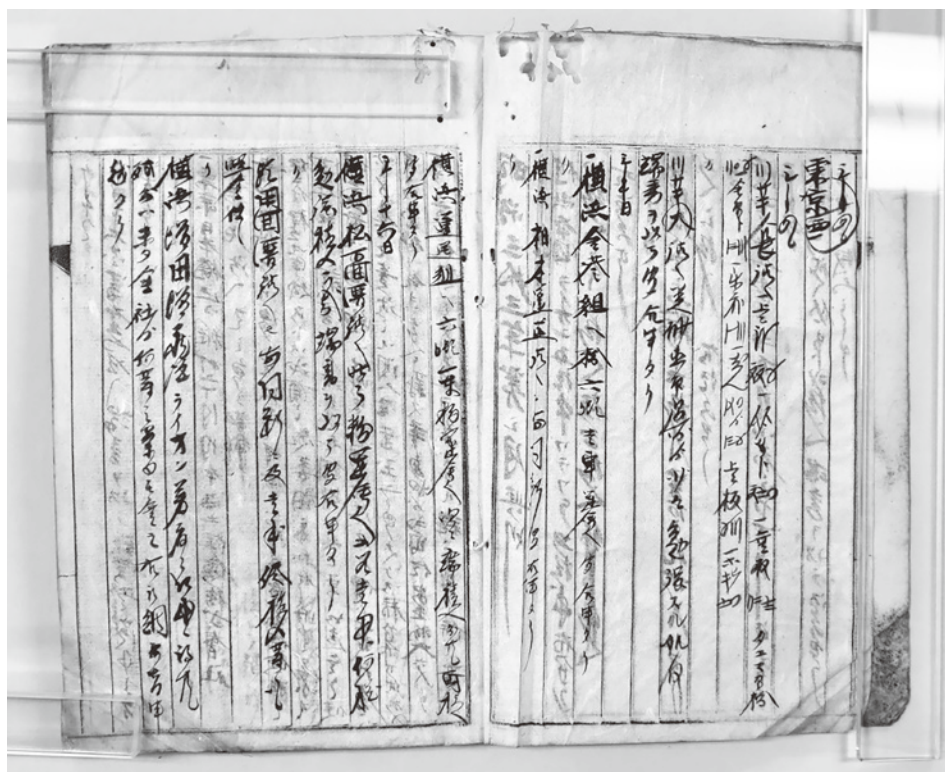
博物館での写真撮影（2022年2月）



82



呉状 明治 16 年 (II-1-21)



各国取引店文通 明治三拾年第三月吉日より (I-12-1)

東北学院大学博物館所蔵 西村家文書目録

資料名は原則として原資料の表題を採用したが、必要に応じ目録作成者が付けた者は〔 〕で記す。
配架番号は、現時点における博物館での収納状態に即した番号である。

整理 番号	資料名〔差出／宛所〕	年代	形態	備考	配架 番号
I 西村商店経営書類					
1-1	市内 甲号 大帳 明治三十二年三月	明治 32 年	冊	虫損あり。	A-5
1-2	市内大帳 大正四年壱月吉日	大正 4 年	冊		A-3
1-3	市部大帳 甲号 大正 年	大正年間	冊		A-4
1-4	市部大帳 大正 年	大正年間	冊		A-7
1-5	南行大帳 明治三十一年第十一月吉日	明 治 31 年 11 月	冊		A-6
1-6	地廻大帳 大正五年八月より	大正 5 年 8 月	冊		A-11
1-7	秋保大帳 大正八稔第陸月より	大正 8 年 6 月～	冊		A-8
1-8	郡部大帳 大正久年陸月より	大正 9 年	冊	裏表紙に「油断大敵 本店」	A-1
1-9	郡部大帳	大 正 10-11 年	冊	表紙取れかけ、裏表紙はずれ	A-10
1-10	郡部大帳	大正年間	冊	裏表紙に「油断大敵 本店」	A-2
2-1	店卸元帳 自明治十九年度至二十五年度 第一号	明 治 19～ 25 年	冊		H-4
2-2	店卸元帳 自明治二十六年度至三十年度 第二号	明 治 26～ 30 年	冊	「廿七度店卸本調」から赤色での記入が入っている。	H-3
2-3	参号 店卸元帳 明治参拾年度より	明 治 30 年 ～	冊	冊子底面に「卸店」記載あり。一部虫食い。	H-1
3-1	当座帳 明治三十九年第二月吉辰日 会計部	明治 39 年	冊	上部に細いひもを通していた穴がある	R-15
3-2	当座預元帳 大正元年	大正元年	冊	中間辺りで上から紙を貼って書いている。	H-2
3-3	当座預元帳 大正六年六月壱日より	大正 6 年	冊		A-9
3-4	銀行預金元帳 明治四十三年第五月吉辰日	明治 43 年	冊	「七十七銀行」の記載／赤付箋で「積立金」	P-2
3-5	銀行預金元帳 大正四年拾貳月より	大正 4 年	冊	最後に追加頁有り。	P-1
4-1	月賦請取通 明治廿三年第五月一日より	明治 23 年	冊		B-4
4-2	月賦金受取通 大正五年四月小岸興太郎殿	大正 5 年	冊	裏表紙「仙臺市外長町 秋保石村軌道株式會社」	B-3
4-3	呉服太物通 明治四拾五年壬子第三月より	明治 45 年	冊	紐付き	B-6

整理 番号	資料名 [差出／宛所]	年代	形態	備考	配架 番号
4-4	呉服太物通 大正貳年丑第壹月より	大正 2 年	冊	裏表紙「澤口呉服店／西金様」	B-5
4-5	現金通 大正貳年 九月吉日	大正 2 年	冊	表紙に穴あり。ヨレ・折れ・シミ多し	B-1
4-6	商品通 大正参年第拾貳月廿拾六日	大正 3 年	冊	裏表紙に「立町 齊兵之亮様」	B-7
4-7	粉通 大正五年第四月ヨリ	大正 5 年	冊	裏表紙に「西村様」／「河原町 大内商店」の印	B-10
4-8	荷物受取通 大正六年七月六日	大正 6 年	冊	裏表紙に「砂野松蔵店／西村金六商店御中」	B-2
4-9	八百屋通帳 大正六年四月吉辰	大正 6 年	冊	裏表紙に「西村様」	B-9
4-10	御通帳 大正拾壹年六月	大正 11 年	冊	裏表紙「西村金六商店」「仙台味噌醬油株式会社御中」	R-6
4-11	醬油通 大正拾五年第三月ヨリ	大正 15 年	冊	裏表紙に「西村様」「小林商事（株）」	B-8
5-1	諸道具調帳 明治参拾年八月廿四日	明治 30 年	冊	数ページのみ記入あり。上部に金額、下部に品目。	C-2
5-2	乾物店調帳 明治参拾九年壹月廿八日	明治 39 年	冊		C-1
5-3	店卸調帳 大正拾四年新暦一月廿八日 旧暦正月五日 大正拾参年度	大正 14 年	冊	裏に人名あり／踏まれた跡あり	C-4
5-4	卸調帳 大正拾五年新二月十八日 旧正月五日/大正拾四年度店	大正 15 年	冊	表紙・裏表紙にシミあり。裏表紙に「人帳」	C-3
6-1	店入費調帳 明治四十五年第一月吉辰日	明治 45 年	冊	会社名・品名の記述	C-5
6-2	諸入費帳 大正貳年第貳月吉日	大正 2 年	冊	裏表紙「油断大敵」。	Q-1
6-3	諸入費帳 大正六年第壹月より	大正 6 年	冊	破れ、虫喰いあり（裏表紙から貫通）。	L-2
6-4	諸入費帳 大正九年第拾貳月より	大正 9 年	冊		Q-2
6-5	入費出入調 大正七年	大正 7 年	冊	裏表紙「油断大敵」「会計部」	F-4
7-1	株式出入帳 大正拾年第貳月より	大正 10 年	冊	「株口」と「貸口」の付箋	F-1
7-2	金銀出入帳 大正八年参月壹日	大正 8 年	冊	裏表紙「油断大敵 本店」。金銀出入の日付とその量。	F-2
7-3	金銭出入元調 明治三十年第十二月一日	明治 30 年	冊		F-3
7-4	金銭出納帳 明治参拾九年第二月吉祥日	明治 39 年	冊	24 頁目上部破れ有り	M-3
7-5	金銭出納帳 大正貳年第八月一日	大正 2 年	冊	大正 3 年 11 月まで記述。折れ、ヨリ、破れ、虫喰いあり。	M-2
7-6	金銭出納帳 大正四年拾月より	大正 4 年	冊	大正 6 年 11 月まで記述	M-1
7-7	出納帳 大正拾伍年四月壹月より	大正 15 年	冊	虫損。1 頁目に「家計簿、リウマチ、肝臓病」の記述	M-4
8-1	直附帳 明治二十八年第一月吉辰日 第二号	明治 28 年	冊	虫損	D-6

整理 番号	資料名〔差出／宛所〕	年代	形態	備考	配架 番号
8-2	附場帳 明治三十年第一月より	明治30年	冊	全ページに渡って上部にシミ有り。	D-2
8-3	南行附場帳 明治三十年第四月吉日	明治30年	冊	ページ内に(マルマイナス)のような図がある。	D-4
8-4	附場帳 明治三十一年第九月より	明治31年	冊		D-3
8-5	附場帳 明治四拾四年七月吉辰日	明治44年	冊	「石名坂」「伊勢屋」「人二」などの項目。パン・羊羹などの記述。	D-5
8-6	附場調帳 大正五年八月より	大正5年	冊	ページ上部を糸綴じ。背表紙が取れかけている。	D-1
9-1	各国仕入帳 大正元年拾月吉日	大正5年	冊	表紙の次から2、3ページよれ。1ページ破いた跡。	E-1
9-2	東京仕入帳 明治四拾四年七月吉辰日	明治44年	冊	「日粉」「オカメ屋」の付箋あり。	E-2
9-3	附込仕入帳	大正9年	冊	「卸商 鎌田復三」の記述。	E-3
10-1	入荷運賃拂帳 大正拾壹稔第拾壹月より	大正11年	冊	菓子、車、洋菓子などの記載	G-2
10-2	入荷運賃帳 昭和参年第四月より	昭和3年	冊	領収証が挟まっている	G-1
11-1	金生田地仕分帳 明治廿七年第一月より	明治27年	冊	裏表紙「油断大敵仙台河原町(マル山二)西村金六」。	I-2
11-2	金生田地仕分帳 明治三十六年第五月改メ	明治36年	冊	「田税費第四期」などの記述。	I-4
11-3	金生田地仕分帳 大正六年二月より	大正6年	冊	二十五頁以降空白	I-3
11-4	㊤ 仕分帳 明治三十八年第一月吉辰日	明治38年	冊		I-1
11-5	(吉) 店仕分帳 大正五年八月より	大正5年	冊	裏表紙「油断大敵」等。下部に濡れた痕跡。	I-5
12-1	各国取引店文通及商品合控帳 明治二拾八年第七月一日より	明治28年	冊	日付、名前、住所(山形、福島、東京、塩竈、等)記載	J-2
12-2	各国取引店文通及商品手合控帳 明治三拾三年第三月吉日	明治30年	冊	虫喰いの痕、赤や黄、黒のカビのような汚れ有り。	J-1
13-1	諸控帳 大正七年四月より	大正7年	冊	裏表紙「油断大敵、(マル山二)本店」。	J-3
13-2	諸控帳 大正八年第九月より	大正8年	冊	大正十年三月まで記述。裏表紙「(マル山二) 會計部」	J-4
13-3	精糖控帳 明治四拾壹年第七月より	明治41年	冊	大正12年9月まで。精糖の仕入れに関して記述。	J-5
13-4	相場控 帳場	大正11年～12年	冊	「尚相場変動ノ際は成行ニ従ヒ精々相勉メ可申候」	R-12
14-1	人員引合帳 大正四年二月吉日	大正4年	冊	表紙が虫喰い。大正4年2月～7月まで書かれている	K-1
14-2	人員引合帳 大正五年壹月より	大正5年	冊	裏表紙「西村御尊店様 後藤平六」。最初と末尾のみ	K-2
15-1	賣上帳 大正八年貳月吉日甫	大正8年	冊		L-1
15-2	覚帳 小嶋金兵工殿／出荷係	大正10年	冊	数量や金額などが含まれている。	N-1

整理 番号	資料名〔差出／宛所〕	年代	形態	備考	配架 番号
15-3-1	萬覚帳 明治廿拾参年第十二月	明治 23 年	冊	表紙折れ有。5 頁目以降空白。	N-2-1
15-3-2	衣類 廿年八月廿九日	明治 20 年	冊	記載事項なし（全て空白）	N-2-2
16-1	財産目録 明治三拾年第壹月吉日	明治 30 年	冊		O-1
16-2	財産目録 大正元年第壹月吉日	大正元年	冊	虫食いあり。裏表紙「大正元年財産目録第壹月吉日」	O-2
17-1	金蘭簿		冊	「七郷村荒井字笹屋敷農家組合員人名簿」。反故紙。	R-2
17-2	〔名刺帳〕		冊	名刺をクリアファイルで整理。ファイルは後に調達。	W-1
18-1	第拾七回決算報告		冊	汚れ、破れ有り。	R-3
18-2	〔決算報告書類〕	大正 6 年	綴	汚れあり。	R-21
18-3	〔決算報告書類〕	大正 12～13 年	綴	第 36 回決算報告。破損。	R-20
19	建築帳 明治四拾年第月吉辰日	明治 40～大正 15 年	冊	秋保石材軌道株式会社用紙使用	R-4
20	御為知帳 昭和十三年二月二日	昭和 13 年	冊	記載なし	R-5
21	持地目細帳 明治参拾年第一月吉祥日	昭和 30 年	束	西村家所有地の住所と宅地面積、及び地価	R-7
22	重宝録 明治三十年第一月吉日	明治 30 年	冊	空白のページがほとんど	R-8
23	出先判取 明治参拾九年第二月吉辰日	明治 39 年	冊	/途中から白紙。裏に「油断大敵」とある。	R-9
24	職工帳 大正四年壹月吉日	大正 4 年	冊	勤務表、各大工の計勤務日と賃金のまとめ。	R-10
25	税金上納帳 大正拾参年第二月吉辰日 本店	大正 13 年	冊	途中から記入なし。税務署からの業書	R-11
26	貸借帳 明治三十九年第二月辰日 会計部	明治 39 年	冊		R-13
27	注文帳 昭和参年第壹月より	昭和 3 年	冊	表紙のみ。	R-14
28-1	〔家計簿〕	大正 15～昭和 4 年	冊	表題なし/冊/後半 42 頁空白「小供小遣」など支出簿	R-16
28-2	家計簿 昭和二十八年十月十一日より	昭和 4 年～28 年	冊	途中に運賃領収書挟む。	R-1
28-3	〔支出簿〕	昭和 17～18 年	冊	最初の部分のみ記入。西村一郎・栗野勉等への支出	R-17
28-4	〔支払簿〕	大正 11 年	冊	七十七などへの支払い	R-18
29	領収書（公共）		束	虫喰い穴、破れあり。	S-2
30-1	賃金証券入	明治期	袋	資料 37 点入り。封筒破れ。西村金六宛書類が多い。	S-4
30-2	古証券	昭和 33 年	袋	封筒のみ。	S-12

整理 番号	資料名〔差出／宛所〕	年代	形態	備考	配架 番号
31-1	証書類入 大正五年八月改	明治～大正	袋	証書類 27 点入り。土地、金銭関係。 西村金六宛書類。	S-6
31-2	公正証書入並詫状共並証書類入		袋	「売買及賃貸借構成証書」の正本。	S-8
31-3	公正証書正本 石井吉四郎殿		袋		S-9
31-4	公正証書謄本 西村金六殿	昭和 6 年	袋	賃貸料、計算書、物件売買兼賃貸借 契約公正証書謄本。	S-15
32	有休動産借差押調書証本	明 治 30 年 9 月	綴	差押財産目録。	S-10
33	〔書類一括〕	明治～昭和	袋	袋に「墓」と書かれている。一部書類 に破れあり。	S-7
34	解約証	昭和 33 年	綴	日清製粉との小麦粉の売買契約の解約 について	S-11
35-1	借用書〔西村屋→大泉権志郎〕		1 枚	破れあり。	S-13
35-2	西村商店用罫紙		1 枚	上から月日、摘要、替百拾、円、拾銭 厘と書いてある。	S-14
35-3	証 大正六年十二月	大正 6 年	1 枚	破れあり。西村金六宛のもの	S-17
36	田地小作証	明 治 31～ 32 年	袋	名取郡大郷村と宮城郡七郷村・名取郡 増田の小作証。	S-16
37	登記済証書	大正 7 年 9 月	袋	書類 9 点（土地関係）	S-26
38	根抵当権解約証	昭和 33 年	1 枚	根抵当権設定の契約を解約	S-19
39	手形取引約定書	昭和 30 年	綴	手形取引約定書（1 枚）と担保差入証（2 枚）の 3 枚綴り	S-20
40-1	買渡書	昭和 4 年	綴	状態は良。亶理郡亶理町字下小路の物件	S-18
40-2	天理教名京大教会維持財団はがき （加藤大次郎宛）	昭和 4 年	葉書		S-21-1
40-3	亶理天理教財団法人 封筒	昭和 4 年	封筒	中身なし。登記書類入。	S-22-2
40-4	天理教献納書	昭和 4 年	綴	財団法人天理教名京大教会維持財団へ の土地献納証明書	S-22-3
41-1	金子借用証（申入書）	明治 30 年	1 枚		S-23
41-2	正義講関係（借用書）	明 治 30 年 1 月	1 枚	毎月の分割払いで借金を返すことにつ いて。	S-24
41-3	買入証 宮城郡七郷村荒浜宅地畑 原野	大正～昭和	封筒	七郷村荒浜字一番地地図/七郷村荒浜 字南官林地図/売渡証	S-28
42	大久保武蔵鎧巻之巻		冊	7 枚目以降の紙をとじた部分に虫食い あり	S-27
43	消息往来		冊	最初のみひらきに鉛筆のようなもので の書き込みあり	R-19
44	秋保石材軌道株式会社株主人名表 （コピー）	大 正 8 年 12 月 31 日	1 枚		U-1
45	秋保石材軌道株式会社発起人名簿 （コピー）		冊		U-2
46	旅行日誌（コピー）	大正 11 年	冊		U-3

整理 番号	資料名〔差出／宛所〕	年代	形態	備考	配架 番号
II 西村家冠婚葬祭関係					
1	〔婚儀関係書類〕				
1-1	〔婚儀案内状〕 差出：西村吉太郎	昭和 14 年 12 月	はがき	西村一郎・名取かつよとの婚姻。新河 原町五軒茶屋にて御披露	T-1-5
1-2	西村一郎婚姻御披露御招待方控	昭和 14 年 12 月 6 日	冊	五軒茶屋・自宅に分けて記載。	T-1-2
1-3	長孫一郎御祝儀申請帳	明治 44 年	冊	明治四拾四年五月式拾四日／御祝儀名 簿	T-1-3
1-4	長男一郎婚姻御祝儀申請控帳	昭和 14 年	冊	昭和十四年二月六日／御祝儀名簿	T-1-4
1-5	目録	昭和 14 年 12 月 6 日	状・ 包紙	西村家より名取家への贈呈品目録。小 袖、羽織、寿えひろ、鮮魚、家内喜乃 留	T-1-11
1-6	〔祝儀袋〕	(昭和 14)	包紙	青田よねの御祝儀袋	T-1-6
1-7	〔紅白布〕	(昭和 14)	布	紅と白の布が針によって重ねてとめら れているもの	T-1-8
1-8	〔食材一覧〕		継紙 2 枚	食材／鯛八枚、鯉二本、あわび百コな ど	T-2-1
1-9	口演〔西村金六〕	大 正 14 年 か) 6 月	帳	西村こと(金六長女)の婚儀。三浦徳 茂ほか 36 名あて	T-2-3
1-10	呉状〔伊藤敏寿→西村金六〕	大 正 15 年 12 月 26 日	状	西村金吾郎の婚儀	T-2-2-1
1-11	貰受状〔西村吉太郎→松本幸之助〕	昭和 19 年 3 月	状	西村次郎・松本ふみ子の婚姻。	T-2-2-2
1-12	献立	明 治 42 年 か	継紙	餅、雑煮、皿、香乃物、吸物、など。 下書きか。	T-2-2-3
1-13	〔婚儀の次第〕	明 治 42 年 か	継紙	西村吉太郎の婚姻か。「式三献」以下 の次第を記す。	T-2-2-4
1-14	電報〔石井生吉→西村金六方西村 吉太郎〕	明治 42 年	1 枚	「結婚ヲ祝ス」	T-4-1
1-15	電報送達紙〔→西村金六〕	明治 42 年	1 枚	「華燭ノ典ヲ祝ス」	T-4-2
1-16	口演(西村金六→新妻嘉胤)	明 治 42 年 6 月 13 日	封書 (3 枚)	長男吉太郎の結婚式招待	T-4-3
1-17	書簡(坂本栄三郎→西村金六)	明 治 42 年 6 月 12 日	封書	礼状	T-4-4
1-18	口演〔西村金六〕 佐藤勇藏・八 木久義宛	明 治 42 年 6 月 13 日	冊	西村吉太郎結婚式招待の口上控。佐藤 勇藏・八木久義他 31 名宛	T-4-5-1
1-19	口演〔西村金六〕 佐藤勇藏・小 西柴藏他宛て	明 治 42 年 6 月	冊	西村吉太郎結婚式招待の口上控。佐藤 勇藏他 53 名宛	T-4-5-2
1-20	婚姻御祝儀申受帳	明 治 42 年 6 月 13 日	冊	／ご祝儀(お金やお菓子など)の量と 氏名の記載	T-4-6
1-21	呉状	明 治 16 年 6 月 6 日	状	西村金六・石井きゑの婚姻	T-5-4

整理 番号	資料名〔差出／宛所〕	年代	形態	備考	配架 番号
1-22	貰受状 〔西村金六→坂本栄三郎〕	明 治 42 年 (旧) 4 月 27 日	状	西村吉太郎・坂本とらの婚姻	T-5-2
1-23	呉状 〔坂本栄三郎→西村金六〕	明 治 42 年 (旧) 4 月	状	西村吉太郎・坂本とらの婚姻	T-5-3
1-24	婚礼の献立表	明 治 42 年 6 月 13 日	状 (継紙)	西村吉太郎・坂本とらの婚姻祝宴時の 献立表	T-5-5
2	〔葬儀関係書類〕				
2-1	野辺帳 昭和十年六月八日 釋尼妙歛	昭 和 10 年 6 月 8 日	冊	野辺送りの参加者の名前一覧	T-6-1
2-2	野辺帳 昭和十年六月八日 釋尼妙歛	昭 和 10 年 6 月 8 日	冊	野辺送りの参加者の名前一覧（裏まで 記入されている）	T-6-2
2-3	野辺帳 昭和十年六月八日 釋尼妙歛	昭 和 10 年 6 月 8 日	冊	野辺送りの参加者の名前一覧	T-6-3
2-4	小遣帳	昭 和 13 年 2 月 2 日	冊	西村金六葬儀関係。金額・名前一覧	T-6-4
2-5	御香典請帳	昭 和 13 年 2 月 2 日	冊	西村金六葬儀関係。金額と名前一覧	T-6-5
2-6	御香典請帳	昭 和 13 年 3 月 22 日	冊	西村金六葬儀関係。金額と名前一覧	T-6-6
2-7	死亡通知ハガキ〔西村吉太郎〕	昭 和 13 年 2 月 2 日	封書	西村金六の死去と葬儀の日時について の通知	T-6-9
2-8	小遣帳	昭 和 24 年 11 月 20 日	冊	釋一道（西村一郎）葬儀の諸経費（花、 菓子、酒、野菜、電報など）	T-6-7
2-9	〔借物、買物、頂戴物控〕	明治 19 年	冊	明治十九年第一月吉辰／借物、買物、 頂戴物に関する控	T-6-8
2-10	〔葬儀参列者名簿〕		継紙	葬儀参列者名簿／親類之部・その他に 区分。佐藤勇蔵他。	T-6- T-10
2-11	〔御香典請帳〕		冊	十一月六日 五軒茶屋受付分／金額と 名前一覧	T-6- T-11
3	〔西村金六あて書簡〕 6 通				T-3
3-1	佐藤勇助書簡〔西村金六宛〕	大正 3 年	封書	息子の今朝雄の就職についての礼状。	T-3-2
3-2	青山惣吉書簡〔西村金六宛〕	大正 14 年	封書		T-3-1
3-3	三原庄太書簡〔西村金六宛〕	大 正 14 年 3 月	封書		T-3-4
3-4	保原千代吉書〔西村金六宛〕	大正 14 年	封書	商業会の議員改選について	T-3-5
3-5	天江勘兵衛書簡〔西村金六宛〕	大 正 14 年 3 月	封書		T-3-6
3-6	伊澤平左衛門外三百名書簡 〔西村金六宛〕	昭和 5 年	封書	選挙に関する案内。候補者 9 名、補欠 員、推薦者	T-3-3
3-7	新聞記事のれん守る回転椅子	昭和(戦後)	コピー	西村商店の社長西村とらのへのインタ ビュー記事	T-5-1

整理 番号	資料名 [差出／宛所]	年代	形態	備考	配架 番号
III 書籍・雑誌類					
1	仙台アルバム		冊		V-1
2	菊治軍治著『宮城県実業家奮闘史』	大正 4 年	冊	書籍（非売品、大正四年六月二十五日発行、菊治軍治著）	V-2
3	帝国劇場案内	大正 7 年 8 月 20 日	冊	劇場内の写真、利用案内	X-1
4	法隆寺図説	昭和 17 年 7 月 15 日	冊		X-8
5	時事新報	昭和 4 年 1 月 1 日	1 枚		X-3
6	朝日新聞縮刷版	大正 10 年 8 月	冊	索引、大正 10 年 8 月 1 日～30 日分を綴じている	X-10
7	〔皇室写真集〕	大正 10 年以降	冊	大正天皇、摂政殿下（昭和天皇）	X-16
8	婦人クラブ		冊	表紙「およろこびの日」	X-11
9	国際画報 3-3～4-3 号	大正 13 年 3 月～14 年 3 月	合冊	合冊／表紙裏に「帝国記念協会」の印。大正通信社刊	X-12
10	東宮殿下御結婚記念写真画報	大正 13 年か	冊		X-14
11	アサヒグラフ臨時増刊聖徳太子奉賛美術展覧号	大正 15 年 5 月 25 日	冊		X-13
12	国際写真情報・世界画報臨時増刊-皇太子御結婚特集号	昭和 34 年 4 月 15 日	冊		X-15
13	〔皇太子明仁親王御結婚に関する雑誌〕	昭和 34 年	冊		X-17
14	〔書画一括〕	不明	束	画報から剥がれ落ちたものか	X-2, 4, 7, 9